

新年を語る

会派等の抱負

◎幹事長
◎副幹事長

夢と希望と活力みなぎる豊島区へさらに躍進

平成27年、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、本年も区民の皆様が健康やかに過ごされたいことを、心よりご祈念申し上げます。

平成26年は、海外・国内ともに様々な災害が発生しました。海外では、4月に韓国の大型旅客船「セウォル号」が沈没して多くの方々がお亡くなりになられ、5月に入ってから流行が急拡大したエボラ出血熱については、まだ終息には至っておりません。国内では、8月に広島県で集中豪雨に伴う大規模な土砂災害が発生、また、9月には長野県と岐阜県の県境に位置する御嶽山が噴火したことで、ともに大勢の方々の尊い命が失われてしまいました。

本区においても、6月に池袋駅西口で危険ドラッグの吸引が原因の乗用車の暴走事故が発生し、1名の尊い命が奪われ、7名の方々がけがを負うという悲劇が起こってしまいました。

この件に関しては、豊島区議会全会一致の議決に基づく7月の「違法ドラッグ・脱法ドラッグ撲滅都市宣言」、さらには、昨年第四回定例会に提出された「豊島区危険ドラッグその他の危険ドラッグ等の撲滅に向け、区と区議会が一体となって、逸早く行動を起こしたわけであり、我々、自民党豊島区議団としても、高野区長とともに「安全・安心創造都市」の実現に向け、これからも全力で邁進していく覚悟であります。

昨年第三回定例会で認定された平成25年度決算では、経常収支比率や実質公債費比率といった財政指標が軒並み改善したばかりでなく、平成2年度以来、実に23年ぶりに基金残高が起債残高を上回る結果となり、まさに理想的な財政構造でバランスの取れた素晴らしい決算となりました。今後についても、引き続き、安定的で持続可能な財政運営となるよう努力精進いたします。

我々自民党豊島区議団は、新庁舎の建設や「国際アート・カルチャー都市構想」策定にみられるような、斬新かつ他の自治体から目標とされる政策を、今後も区民と行政、議会との強い信頼関係のもと、夢と希望と活力みなぎる豊島区となるよう積極的に推進してまいります。



「人が生きる、地方創生」豊島に活力を!!

公明党

新春をすぎ、謹んでご祝詞を申し上げます。

さて、昨年は住みたいまちランキング第3位に池袋がランクインされ注目を浴びました。その一方で、都内で唯一、「消滅可能性都市」との指摘を受けた区民の皆様も驚くと共に心配されたことと思います。公明党豊島区議団はこの指摘を払拭する為に、女性と若者の声を集めて高野区長に対して緊急申し入れを行い、子育て環境の充実、女性の健康を守る施策推進、教育が充実した街への取組み等の緊急申し入れを行いました。

区では緊急対策本部を設置し、逆にこの報道をバネにして、「持続発展都市」を目指しての全庁的な対策を開始したところで、今後も若い方はもちろん、すべての方が住み続けたい街となるよう地域と区が一体となつて取組んでいく必要があります。その点からも、今春竣工する新庁舎が、最高レベルの区民サービスと安全・安心な街づくりの拠点としてオープンすることに大きな期待と関心が寄せられています。今年6月には、新庁舎を舞台として世界規模の公募美術展、「アートオリンピック2015」が開催され、国際アート・カルチャー都市として豊島区の新たな魅力を世界に向けて発信します。公明党豊島区議団としても、新庁舎を中心として更なる安全・安心の街づくりを進めてまいります。

また、これまで積極的に提案してきた福祉・健康施策に加えて、今後は、空き家など中古住宅のリノベーション(大規模改修)で、魅力ある居住空間を創出するべく全力を尽くしてまいります。

昨年、公明党は、結党50周年を迎えました。立党の精神である「人が生きる、地方創生」をテーマに、「豊島に活力を与える」存在として本年も皆様のご期待に十分に応えられるよう一丸となって活動してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



大型開発より、暮らし・福祉優先の豊島区へ

日本共産党

新年あけましておめでとうございます。

今年も終戦70年。国民は「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうにする」と憲法が誓っています。長年、戦争する国を阻止してきたのは国民の力です。日本共産党は他国の戦争に参加する集団的自衛権を許しません。

昨年、自共対決を鮮明に打ち出し、消費税増税ストップ、脱原発などの国民的運動と共同奮闘しました。

昨年実施したアンケートでは、「この一年で生活が苦しくなった」と回答された方が53%にもなり、消費税増税については73%が反対しています。区民の暮らしが収入減と消費税増税に加え、社会保障の相次ぐ負担増で、ますます深刻です。区政に対する要望では、国民健康保険料・医療費の引き下げ、特別養護老人ホーム等の施設の増設、介護保険料・利用料の引き下げ、保育園待機児の解消や認可保育園の増設、避難所の確保など切実な声寄せられました。

今年も、区長・区議会議員選挙の年。日本共産党は大型開発優先の区政と正面から対決し、暮らし・福祉最優先の豊島区へ全力を尽くします。



子ども達の未来のための区政運営に全力

自治めらい

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。税と社会保障の一体改革が前提となつてきた苦の消費税の再増税は先送りとなりませんが、先行きの安心感が得られないまま、中小企業・商店・低所得者に対する負担増が懸念されます。平成25年度決算は、23年ぶりに基金が起債を上回った数値となりましたが、新庁舎の保留床購入により基金残高は激減し、現庁舎地活用による収入を得られるまで、厳しい財政運営となります。新庁舎移転による新たな需要増や施策展開が予定されていますが、子ども達に付けを回さないよう、行政サービスの適正な在り方を慎重に見極めていかなければなりません。新年度は、子ども・子育て支援新制度がスタートしますが、国からの財源が不安定な中にあるため、子育てをしつかりと社会保障に位置づけ、着実に子育て支援を行わなくてはならないと考えます。23区で唯一、消滅可能性都市との指摘を受けた本区だからこそ、子ども達のための施策に重点を置きつつ、全ての人がその人らしく大切にされる区政運営のために、しっかりとしたチェック機能と建設的な議論展開を行ってまいります。本年が、皆様にとって良い年となりますよう、心より祈念いたします。



新ホール整備はNO！子育て施策の充実を！

みんなの党

新年あけましておめでとうございます。昨年11月のみんなの党解散につきまして、まずはお詫び申し上げます。タイトルにも書きました通り、現庁舎跡地活用における多大な投資を伴う新ホール整備には反対です。将来世代の負担を抑え、消滅可能性都市から脱却するために、より一層の子育て施策の充実を

目指して今年も皆さまとともに歩んでまいります。旧年中に倍しましてご支援賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



新しい時代を切り拓くために生活の党

多世代間交流の推進と子育て世代支援強化！無所属元気の会

新年明けましておめでとうございます。本年も目指してまいります。本区に必要な方の声が届く政治を必要とする。本区も数々の難問が山積しておりますが、皆様の新しい時代を切り拓くために全力で頑張ります。

唯一の無所属議員として、家族間・地域間コミュニケーションの強化と、お母さん・お父さん子育て世代への支援推進強化を議会・豊島区へ訴え、熱く行動してまいります。

